

表紙

背幅3.88mm

裏表紙

Seicho-No-Ie
Prosperity Society

OSAKA

50

大阪教区栄える会50周年記念誌



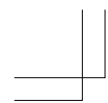
since
1966

⋮



⋮

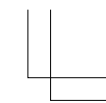
2016



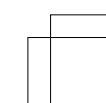
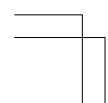
P3



P2



汝ら天地一切のものと和解せよ



OSAKA 50

もくじ

ごあいさつ

- 大阪教区栄える会会頭代行 田中 証 … 4

お祝いのことば

- 大阪教区教化部長 久利 修 … 6
- 生長の家参議 澤田 伸史 … 7
- 生長の家栄える会会長 樋上 雅一 … 8
- 生長の家長老 吉倉 修三 … 9
- 生長の家長老 妹尾 壽夫 … 10
- 生長の家栄える会名誉会長 神谷 光徳 … 11
- 生長の家栄える会副会長 太野垣 修二 … 12

五十年の歩み

- 大阪教区栄える会五十年の歩み … 14
- 大阪教区栄える会歴代役員名簿 … 18

- 大阪教区栄える会の生い立ちの記

初代事務局長 吉田清吉

… 20

- 二十五年の足跡

～二十五周年大会から今日まで～

… 26

行事記録

- 大阪教区栄える会行事記録 … 32
- 大阪教区栄える会機関紙「輝くなにわ」 … 38

これからの五十年のために

- 「命の輝き共生の森」の取り組み … 40
- 信仰心豊かに「倫理的な生活者」として、
「自然重視、省資源、低炭素の生活法」の
実践と啓蒙活動に努めましょう！ … 44
- 会員企業広告 … 46
- 編集後記 … 48

お祝いのことば

OSAKA 50

ごあいさつ

大阪教区栄える会会頭代行
田中 証

おかげさまで創立五十周年
会員の皆様並びに関係役員の皆様方に篤く御礼申し上げます

大阪教区栄える会は、昭和四十一年九月に「生長の家大阪聖使命栄える会」として発足し、初代会頭に鈴木幸三郎先生にご就任頂きました。

以来、今日の五十周年を迎える事ができましたのは、歴代の大阪教区教化部長先生、中央部の会長をはじめとする本部役員の先生方の愛情溢れるご指導、又、教区栄える会会頭、副会頭、事務局長等教区役員と支部長を始めとする支部役員の皆様方のたゆまないご尽力とご愛念が在ったればこそといくら感謝申し上げます。さて、今日の社会情勢に目を向けますと、世界の経済を牽引してきた中国の経済拡大に陰りが見え、経済情勢に先の見えない状況の中、EUでは、難民の受け入れに否定的な英国のEU離脱、ISのテロ活動の活発化、米国の大統領選挙への人気のない候補者二人の争い、益々先の見えない不透明感が一杯の今日ですが、生長の家の人類光明化運動・国際平和信仰運動での教勢拡大のフロント役として期待の大きい栄える会と致しましては、今こそ会員拡大のチャンスととらえ、又、低炭素循環型の経済活動を軸とする栄える会活動を通して、大阪経済の躍進に一步でも半歩でも前進する手助けとなることを全会員が心を一つにし、栄える会の役割を果たしてゆくこ

とに誓いを立てて、栄える会活動に励んで行きたく存じます。
関係各位の皆様方には、今後とも私達栄える会の活動を温かくお見守り頂きますようお願いしてご挨拶とさせていただきます。



大阪教区栄える会五十周年を祝して

生長の家理事
大阪教区教化部長
久利 修



合掌、ありがとうございます。
「生長の家大阪教区栄える会」五十周年、誠におめでとうございます。心より、お慶び申し上げます。

昭和四十一年九月十八日、大阪教区栄える会が発足し、以来、五十年間に亘り、歴代の役員の皆さまを始め、多くの方々の真心と御努力により、今日の発展を見るに至りました。昭和六十一年度で開催された「都道府県栄える会幹部研修会」では、〃栄える会の理念とルーツ〃について、三つの柱が確認されました。

一つ目は、大聖師・谷口雅春先生が始めて神一元・実相一元の大地に降りられ、お悟りを開かれた、最初の神の啓示。

〃突然その大濤のような声が答えた。「無よりいっさいを生ず。一切現象は念（こころ）の所現にして本来無。本来無なるがゆえに、無よりいっさいを生ず。（中略）実相とは神である。あるものはただ神のみである。神の心と、神の心の顕現のみである。（中略）今、ここに、久遠生き通しの生命が復活する。今だ、今だ！ 久遠の今だ！ 今が復活だ！ 今を活きよ。」〃（『生命の実相』第二十卷（自伝篇）の一三四～一三六頁）

二つ目は、昭和四年十二月十三日に天降った〃今起て！〃との神啓。

三つ目は、『生長の家』創刊号の〃『生長の家』出現の精神とその事業（人類光明化運動発進の宣言）〃。

心の眼を開いて、実相を観るとき、人間は

本来神の子であり、善一元なる神の御徳に満たされ生かされ、無限に豊かな実相世界に実在しているのです。一方、形に表れた現象世界は本来空無であって唯心の所現でありますから、心に従って自由自在に富でも健康でも不幸でも幸福でも表すことが出来るというのであります。〃無より一切を生ず〃・・・ここに無限供給の根本原理が示され、繁栄の原理が謳われているのであります。

大聖師が〃今起て！〃との神啓を受けられ、危機に瀕している人類を救わんと起ち上がり、れた真理宣布の道を思い起こし、生長の家総裁・谷口雅宣先生がお説き下さる、時代に即応した真理伝道に邁進したいと思うのです。今、地球は温室効果ガス濃度が高まり、地球温暖化により世界各地で異常気象が頻発し、多くの人々の生命や生活が脅かされている現状です。地球温暖化の原因となっている化石燃料をエネルギー源とする〃地下資源文明〃から脱却し、太陽や風力等に代表される再生可能の〃地上資源文明〃の構築に向って前進することが大切です。

生長の家栄える会会員として、自らは信仰に基づく「倫理的な生活者」として、「ノーマット、低炭素の食生活」「省資源、低炭素の生活法」「自然重視、低炭素の表現活動」を実践し、産業界に生長の家の真理、繁栄の原理をお伝えして、自然と人間が調和した社会の実現に向って邁進され、栄える会が益々発展されますことを心から祈念申し上げます。

お祝いのことば

生長の家参議
澤田 伸史



「大阪教区栄える会五十周年」に寄せて

合掌、ありがとうございます。
「大阪教区栄える会」五十周年、誠におめでとうございます。

五十周年を迎え、これまで活動にご挺身いただきました歴代の会頭をはじめ、先達の皆様、すべての会員の皆様へ心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、人や企業の入信の動機は、自らの健康や繁栄を望んでという方が多く、それは当然のことであり、また必要な第一段階ではあります。しかしいつまでもそこにとどまっていってはなりません。「知・信・行」を繰り返すことによって、私たちの信仰はより深いものとなっていくます。それにより、この現象世界の奥に、素晴らしい実相世界があることをしっかりと認識する事が大切です。そのために神想観をはじめとする、「三正行」の実践が大切です。そして現象を良くしようとして努力するのではなく、ただひたすら愛を求めると、現象界は波の世界ですから、〇も△も△もあります。そんな結果にとらわれず、ただひたすら愛を行ずる、真理を人に伝え続ける、結果は神様にお任せして、自分の経営する事業が栄える。これこそが「真の繁栄」です。

最近、大企業をはじめ企業の偽装やごまかしの経営が明るみに出て、自らの経営を圧迫し、やむなく撤退を余儀なくされるニュースが飛び込んでまいります。

「利は義の和なり」という孔子の言葉がありますが、利益が先行されるとかえって失う。いかに「義」が正しい道かということをまず考えなくてはならないということです。本心に「利」を得ようとすれば、いかにすることが「義」、つまり神意であり、正しい道であるかという根本に立ち返る企業、経営者をさらに増やしていかなければなりません。それが栄える会の使命でもあると考えます。

大阪には、「飴ちゃん文化」があります。これは気さくで社交的、さらに他人への気遣いを大切にする、他にはない素晴らしい文化です。この「飴ちゃんコミュニケーション」を大切に活動され、教区栄える会のさらなるご発展を、心より祈念申し上げます。

元大阪教区教化部長
生長の家長老
吉倉 修三



お祝いのことば

大阪栄える会発足五十周年に寄せて

大阪栄える会五十周年おめでとうござい
ます。

歴代会頭、役員の皆様の御努力と厚い信仰
が今日の全国一の大阪栄える会の現在だと思
います。心から感謝と敬意を捧げます。

五十年前、昭和四十一年九月十八日、大阪
栄える会の発足については残念ながら記憶には
ありませんが、当時没頭していた青年会教区
委員長を辞任した直後のことであり、栄える
会との関わりを持ったのは、当時の本部理事
長であった徳久克己先生や勤めていた豊国工
業の西森社長の強い勧めに従って、昭和四十
四年二月一日地方講師（準教務）になってか
らです。

昭和四十九年十月一日、相愛会副連合会長
兼壮年部長を拝命し、栄える会の副会頭をも
務めました。それまで直接栄える会に関係し
ていませんでしたが、初代の鈴木幸三郎会頭
を始め、歴代の会頭先生をよく存じ上げてお
ります。どの先生も篤い信仰は勿論のこと、
人格識見人を引きつける人間的魅力は素晴ら
しいものがありました。

栄える会の行事で忘れられないのは、昭和
四十六年七月に北海道の札幌教化部での「札
幌・大阪交流講演会」に一二四名の会員が参
加し、当時の会頭の西森社長が社員であった
私に手伝ってほしいとの依頼があつて一行の



日米合同生長の家立教記念祝賀会 (S48年・ハワイ)

生長の家栄える会会長
樋上 雅一



お祝いのことば

五十周年の慶賀を迎え

合掌、ありがとうございます。

この度、生長の家大阪教区栄える会が発足
満五十周年という慶賀を迎えられましたこと
会員の皆様方と共に慶び申し上げます。

立教2年目の昭和7年、大聖師・谷口雅春
先生は「生長の家経済連盟」をご提唱されま
した。それから後の昭和32年、栄える会の
前身である「はじめ会」としてスタート、昭
和38年「栄える会中央委員会」が発足、本
部規約を受け、昭和41年9月18日、全国
の多くの皆様の祝福と希望を受け、大阪教区
に「生長の家大坂聖使命栄える会」が発足し、
鈴木幸三郎先生が初代会頭に就任されました。
以来この五十年を迎えるまで、歴代教化部長
先生ご指導のもと歴代会頭、副会頭、事務
局長、支部長、支部役員、運営委員の皆様
のたゆみないご愛念、ご尽力、ご献資があつ
たからこそ、この善き日を迎えることができ
たのです。

栄える会発会の立役者であります徳久克己
先生のご講話は、何度拝聴させて頂いてもま
たお聞きしたくなるほど魅力的で、笑いが絶
えない豊かな雰囲気は、多くの参加者が真理
を事業や家庭に実践させなくなる素晴らしい
ものでした。まさに大聖師・谷口雅春先生の
「真理を産業界に宣布しなさい」との熱き思
いが大阪教区では二十五周年時の宮澤会頭よ

り脈々と受け継がれ、時の要請に伴う様々な
活動を通し発展して参りました。その間、数
多くの行事の中でも平成7年、ヤオハン和田
一夫会長のご愛念による香港で開催の国際大
会では現総裁・谷口雅宜先生ご夫妻のバイリ
ンガルなご講話は心に残りました。また、教
区では活発な支部例会のほか年に一度の一般
公開セミナーや繁栄ゼミナールが綿密な計画
と運営により盛大に開催され多くの方に喜ん
で頂きました。また、大阪国際会議場で開催
されました全国繁栄ゼミナールが2,500
名という大盛会となりましたのも教化部長先
生を筆頭に相・白・青・講・生の各組織、職
員の皆さまのご指導ご協力のお蔭と感謝にた
えません。

平成22年より取り組んで参りました「命
の輝き共生の森」の活動では、教区をあげて
7,560本の植樹を行い、今では7mを超
す高さにまで生長して参りました。また活発
な支部活動、会員拡大運動が日常的な祝福行
の繰り返しの上で進んで参りました。これか
らも「神・自然・人間の大調和」顕現活動に
邁進すると共に、会員の皆様のご健勝を祈念
し慶びのことばと致します。

お祝いのことば

生長の家栄える会名誉会長
神谷 光徳



発足の歴史を振り返り

五十周年を讃える

生長の家大阪教区栄える会が発足50周年を迎えることに、心よりお祝いの詞を申し上げます。

生長の家創始者・谷口雅春大聖師は、「生長の家誌」昭和5年4月号で「本来人間は、智慧に於いても無尽蔵です。それは水脈が神に通じているために、必要に応じて汲めども汲めども水のつきぬ井戸のようなものです。」との『無一物無尽蔵』のご文章をご発表。

続く、同6月号では「・・・富は吾々が無限の供一即ち神と離れない限り、どこからでも必要に応じてやって来るものであります。・・・」との『生長の家経済観』を、「この境地に達するには『神想観』神との一体感を深める修行をいたします」と神想観を行うことの重要性を述べられました。また、昭和7年10月号に『生長の家経済連盟の提唱』をご発表されました。

昭和32年に栄える会の前身である経営者の集い「はじめ会」が発足。昭和41年に「生長の家聖使命栄える会」と名称変更。初代会長に中林政吉氏が就任され、生長の家の教えと神想観を行じることが柱とした活動の発進がなされました。（昭和51年生長の家栄える会に改称）

そして昭和45年6月には、地方組織第一号として大阪府支部が発足、鈴木幸三郎氏が初



お祝いのことば

前大阪教区教化部長
生長の家長老・全国講師
妹尾 壽夫



大阪教区栄える会・五十周年を祝す

・・・二人の会頭を讃えて

合掌ありがとうございます。

生長の家大阪教区栄える会におかれましては、開設五十周年を迎えられました事を、限りなく祝福し、讃嘆申し上げます。

私が教化部長として大阪教区に在任中の当初の会頭は、大谷整一先生でありました。その深い信仰心と高潔なご人格からにじみ出る優れたリーダーシップは燦然と輝き、発展の一路を前進されました。

当時の行事で忘れられない一つは、弘法大師開創の「高野山」にて開催された「一泊見真会」があります。まさに大自然の腹中に座する思いで、生かされている実感を修したことは、今日の「神・自然・人間は本来一体なり」を実現する運動を予見するかの如く、真に意義あることでした。

このように時代の趨勢を捉えて指導される大谷会頭の素晴らしさは驚くばかりで、その積年の功績により「二重光輪賞」受賞の光栄に浴されました。

大谷会頭の後を引き継がれて、新会頭に樋上雅一先生が就任されました。樋上会頭は実に精力的に栄える会の運動を率先垂範され、今日の栄える会の大輪の花を開花されました。その一つは、「中環の森」の植林の開始です。「大阪のような大都会では、植林する場所はないと思っていましたが、さすが大阪です」と多くの人々から讃嘆されたものです。

更に、空き缶を収集して「車イス」を施設に寄付する運動も拡大され、この運動の重要メンバーの一人の加藤進講師によれば、既に「車イス」の寄付は七三台にもなります。しかも、一台につき空き缶二百キログラムを収集しなければならぬ中での貢献です。私は賞讃の言葉が思い浮かびません。

今は、樋上前会頭は重責の栄える会中央部の会長に就任されましたが、講習会には常に大阪城ホールで運営委員長として、斬新なアイデアを提供してご尽力される陰徳的なお姿が臉に浮かび感謝に耐えません。

開設五十周年を起点として、更に百年に向けて大躍進と、今日まで栄える会の発展にご尽力されたすべての皆様の一層のご盛運を衷心よりご祈念申し上げます。



空き缶収集による「車イス」寄贈活動

五十年の歩み

OSAKA
50

お祝いのことば

生長の家大阪教区栄える会副会長
太野垣 修二



合掌ありがとうございます。
生長の家大阪教区栄える会五十周年、誠に
おめでとうございます。
大阪教区栄える会五十年の歩みを目にいた
し、歴代会頭のお歴々を拝見致しますと錚々
たるお方ばかりで恐縮致します。
さて、私が大阪教区栄える会とのご縁を頂
きましたのは、たしか平成六年頃だったと記
憶しています。

弊社の大阪支店が北区の東洋ホテルの裏に
ありましたので、当時大阪教区で頻繁に開催
されておりました「繁栄講演会」等には度々
参加させて頂き、都度大阪教区の幹部の皆様
と交流させて頂きますと共に、大きな刺激を
受けましたことが懐かしく思い出されます。
当時の栄える会では「国と共に栄え、教え
と共に吾ら栄えん」のスローガンの下、活動
が展開されており、大阪教区においても幹部
の皆様、会員の皆様が発展に活動され、昨今
の発展の礎を築かれました。
そして現在は「神・自然・人間の調和」
の実現に向けた運動が展開されておりますが、
大阪教区の皆様には、今春に栄える会会長に
就任されました樋上会長の下、近畿ブロック

生長の家大阪教区栄える会五十周年を祝して

のみならず全国の生長の家栄える会の模範と
して益々発展されますことをお祈り申し上げ
ます。

再拝



大阪教区栄える会五十年の歩み①

一、栄える会誕生期

昭和七年	生長の家経済連盟の提唱（生長の家誌十月号）
昭和四十一年	「栄える会」と「聖使命喜びの集い」が合併 「聖使命栄える会」に名称変更 初代会長に中林政吉氏が就任

二、大阪栄える会誕生期

昭和四十一年九月	「生長の家大阪聖使命栄える会」発足 初代会頭に鈴木幸三郎氏が就任 副会頭・森田与三、赤田正人、保科一夫、事務局長・吉田清吉 徳久克己副会長を迎え、発会式典・記念講演会開催
昭和四十三年十一月	谷口雅春先生ご指導「栄える会西日本大会」開催（教化部）
昭和四十四年八月	二代目会頭に西森利明氏が就任。副会頭・春名徳雄、河田亮太郎、西田正一
昭和四十五年十月	「生長の家関西トップセミナー」（関西STS）発足 初代会長に酒井芳申氏を選出
昭和四十六年三月	栄える会発足五周年記念大会開催（教化部）
昭和四十六年十月	役員改選 会頭 西森利明氏が再任 副会頭・西田正一、春名徳雄、田代鄭二
昭和四十七年十一月	栄える会発足七周年記念大会開催（教化部）
昭和四十七年十一月	栄える会と三都STS連合がブラジル伝道本部訪問、サンパウロ三地区で講演会開催

三、生長の家栄える会・STSの時代

昭和四十九年十月	三代目会頭に西田正一氏が就任 副会頭・春名徳雄、田代鄭二、吉倉修三、片木幸雄
昭和五十年十月	谷口雅春先生ご指導「第一回繁栄特別講習会」開催（宇治）



昭和五十一年五月	「生長の家栄える会」に名称変更 会長・谷口清超先生がご就任
昭和五十一年九月	栄える会発足十周年記念大会開催（リバーサイドホテル）
昭和五十三年八月	役員改選 会頭 西田正一氏が再任 副会頭・田代鄭二、中川権一
昭和五十三年十月	栄える会会長に和田秀雄氏が就任

昭和六十三年三月	八尾柏原支部結成
昭和六十三年三月	支部結成一周年記念大会開催（教化部）
昭和六十三年十一月	四天王寺支部結成
昭和六十四年一月	昭和天皇崩御
平成元年二月・三月	南、北摂の二支部結成

四、支部の結成

昭和五十五年十月	役員改選 会頭 西田正一氏が再任。副会頭・春名徳雄、篠上博、宮澤廣孝、渡辺昇、西尾兵衛
昭和五十六年二月	栄える会会長に和田一夫氏が就任
昭和五十七年四月	法人会員一万社運動開始
昭和五十八年三月	関西STSが栄える会法人会員に吸収合併
昭和五十八年十月	四代目会頭に西森利明氏が就任 副会頭・西尾兵衛、渡辺昇、宮澤廣孝、篠上博
昭和六十年一月	機関誌「なにわ」発刊
昭和六十年二月	第九回全国大会・第十一回繁栄特別ゼミナール開催（大阪厚生年金会館）
昭和六十年六月	谷口雅春先生ご昇天

昭和六十一年六月	栄える会発足二十周年祝賀式典記念大会開催（コクサイホテル）
昭和六十一年十月	役員改選 会頭 西森利明氏が再任。副会頭・宮澤廣孝、渡辺昇、篠上博、片木了、鈴木桂祐
昭和六十一年十二月	大阪栄える会に初めて支部が発足。阿倍野道場、北なにわ、北、中央、豊楽、京阪、堺の七支部結成
昭和六十二年四月	法人会員一万社運動目標修正 法人三五〇〇社、個人六五〇〇社
昭和六十二年四月・五月	和泉、阪和、東大阪、城東鶴見の四支部結成



大阪教区栄える会五十年の歩み②

平成十年 九月	御堂筋支部結成
平成十年 十月	役員改選 七代目会頭に松村強氏が就任 副会頭・大谷整一、北谷竹生、春名誠、佐藤達彦、 武市進
平成十三年 三月	宮澤廣孝会頭 二重光輪賞受賞
平成十三年 十月	役員改選 八代目会頭に大谷整一氏が就任 副会頭・春名誠、佐藤達彦、樋上雅一、野瀬泰良、 山崎隆之介、幸島邦晴
平成十四年 九月	ハワイ研修旅行 オアフ島「実相センター」において一日見真会開催
平成十五年 八月	高野山に於いて相愛会と合同で一泊見真会を開催 (金剛三昧院)
平成十六年 十月	役員改選 会頭・大谷整一氏が再任 副会頭・春名誠、佐藤達彦、樋上雅一、野瀬泰良、 山崎隆之介、幸島邦晴
平成十六年 十一月	新教化部会館落慶捧堂（十一月七日）
平成十九年 十月	役員改選 九代目会頭に樋上雅一氏が就任 副会頭・山崎隆之介、野瀬泰良、春名誠、武市進、 幸島邦晴、住永哲一、加藤進、江川洋一
平成二十年 七月	第三五回生長の家繁栄特別ゼミナール開催 (大阪国際会議場)
平成二十二年 九月	SYK（鈴木油脂工業）支部結成
平成二十二年 十月	役員改選 会頭 樋上雅一氏が再任 副会頭・山崎隆之介、野瀬泰良、武市進、幸島邦晴、 加藤進、江川洋一、佐藤雄久、白川靖洋
平成二十二年 十一月	鈴木桂祐 元会頭 二重光輪賞受賞。
平成二十二年 十一月	第一回植樹祭開催（命の輝き共生の森） 平成二十七年まで七回開催

平成元年 十一月	役員改選 五代目会頭に宮澤廣孝氏が就任 副会頭・渡辺昇、鈴木桂祐、椿本宗一
平成二年 二月	第十六回繁栄特別ゼミナール開催（不死王閣）
平成二年 二月	第十四回全国大会開催（大阪厚生年金会館）
平成三年 十二月	大阪栄える会二十五周年記念大会・支部結成五周年 大会開催（東洋ホテル）栄える会二十五周年史発刊
平成四年 十月・十一月	山一・吹田の二支部結成
平成四年 三月	門真守口支部結成
平成四年 四月	新企画として、有名講師を迎えブロック合同講演会 の開催が始まる
平成四年 十月	役員改選 会頭・宮澤廣孝氏が再任 副会頭・大谷整一、鈴木桂祐、千布哲男、渡辺昇
平成四年 十一月	梅田支部結成
平成五年 四月	泉州支部結成
平成五年 六月	会員一万達成奉告祭（総本山）
平成七年 七月	ひがし支部結成



ハワイ研修旅行



高野山研修

平成二十五年 十月	役員改選 会頭 樋上雅一氏が再任 副会頭・白川靖洋、武市進、江川洋一、原川和子、 田中証、十菱秀子
平成二十五年 十一月	第一回環境ビジネス勉強会開催 平成二十七年 エコアクション21スクール開催。 六社参加。
平成二十八年 三月	大谷整一 前会頭 二重光輪賞受賞
平成二十八年 三月	栄える会会長に樋上雅一氏が就任
平成二十八年 六月	田中証副会頭 栄える会会頭代行となる



『生長の家国際大会（香港）』でのスナップ

平成七年 八月	副総裁・谷口雅宣先生ご指導「生長の家国際大会」 香港コンベンション・エキジビションセンターで 開催される
平成七年 十一月	役員改選 六代目会頭に鈴木桂祐氏が就任 副会頭・千布哲男、大谷整一、芦田昭二、松村強、 北谷竹生
平成八年 九月	中之島支部結成
平成九年 五月	四先生ご指導による、相愛会・栄える会合同全国大 会が開催（日本武道館）
平成九年 十月	栄える会会長に宮澤廣孝氏が就任

任期				運営委員長	会計監査		事務局長	
平成	1	～	平成	4	俣野幸昌	片木了	篠上博	荒木恵一
平成	4	～	平成	7	俣野幸昌	篠上博	椿本宗一	須藤圭三
平成	7	～	平成	10	芝岡政市	松岡洋市	丹羽敏雄	須藤圭三
平成	10	～	平成	13	小林義明	松岡洋市	丹羽敏雄	須藤圭三
平成	13	～	平成	16	江川洋一	松岡洋市	北谷竹生	片岡 守
平成	16	～	平成	19	江川洋一	松岡洋市	北谷竹生	井澤賢是
平成	19	～	平成	22	鈴木秀夫	北谷竹生	新堂充啓	田中証
平成	22	～	平成	25	江川洋一	北谷竹生	新堂充啓	蛭本浩介
平成	25	～	平成	28	江川洋一	北谷竹生	新堂充啓	蛭本浩介

任期					顧問			相談役		
昭和	41	～	昭和	44	片村四八 岸本トシ子	児玉篤	岡松貞雄	船越縫次郎 大崎小松	本田武蔵 正木集治	當舎克允 大林市郎
昭和	44	～	昭和	46	羽島寛猛 岡松貞雄	大林市郎 岸本トシ子	児玉篤	鈴木幸三郎 船越縫次郎	酒井芳申 尾崎丑太郎	大崎小松 大井光之助
昭和	46	～	昭和	48	羽島寛猛 田村米吉	大林市郎 岸本トシ子	河田亮太郎	鈴木幸三郎 河田博	酒井芳申 大井光之助	尾崎丑太郎 船越縫次郎
昭和	48	～	昭和	49	羽島寛猛 坂本功	大林市郎 岸本トシ子	河田亮太郎	酒井芳申 広崎晴亮	山田酉吉 本田武蔵	高橋壮録 河田博
昭和	49	～	昭和	53	羽島寛猛	坂本功	河田亮太郎	西森利明 河田博	酒井芳申	本田武蔵
昭和	53	～	昭和	55	河田亮太郎			西森利明		
昭和	55	～	昭和	58	河田亮太郎			西森利明		
昭和	58	～	昭和	61	吉倉修三			西田正一		
昭和	61	～	平成	1	吉倉修三			西田正一 岡田一男	酒井芳申	廣崎清一
平成	1	～	平成	4				西森利明 廣崎清一	西田正一 岡田一男	酒井芳申
平成	4	～	平成	7				西森利明 廣崎清一	西田正一	酒井芳申
平成	7	～	平成	10	宮澤廣孝			西森利明	酒井芳申	廣崎清一
平成	10	～	平成	13	宮澤廣孝			西森利明	酒井芳申	廣崎清一
平成	13	～	平成	16	宮澤廣孝	松村強		酒井芳申 芦田昭二	廣崎清一 吉田清吉	篠上博 鈴木桂祐
平成	16	～	平成	19	宮澤廣孝			廣崎清一 吉田清吉	篠上博 鈴木桂祐	芦田昭二 松村強
平成	19	～	平成	22	鈴木桂祐	大谷整一		廣崎清一 松村強	宮澤廣孝	芦田昭二
平成	22	～	平成	25	鈴木桂祐	大谷整一		廣崎清一 松村強	宮澤廣孝	芦田昭二
平成	25	～	平成	28	大谷整一			廣崎清一	松村強	鈴木桂祐

任期				会 頭	副会頭			
昭和	41	～	昭和	44	鈴木幸三郎	森田与三	赤田正人	保科一夫
昭和	44	～	昭和	46	西森利明	春名徳雄	河田亮太郎	西田正一
昭和	46	～	昭和	48	西森利明	西田正一	春名徳雄	田代鄭二
昭和	48	～	昭和	49	西森利明	春名徳雄	西田正一	田代鄭二
昭和	49	～	昭和	53	西田正一	春名徳雄	田代鄭二	吉倉修三
昭和	53	～	昭和	55	西田正一	田代鄭二	中畑権一	片木幸雄
昭和	55	～	昭和	58	西田正一	春名徳雄	篠上博	宮澤廣孝
						西尾兵衛		渡辺昇
昭和	58	～	昭和	61	西森利明	西尾兵衛	渡辺昇	宮澤廣孝
昭和	61	～	平成	1	西森利明	宮澤廣孝	渡辺昇	篠上博
						鈴木桂祐		片木了
平成	1	～	平成	4	宮澤廣孝	渡辺昇	鈴木桂祐	椿本宗一
						鈴木桂祐	大谷整一	千布哲男
平成	4	～	平成	7	宮澤廣孝	渡辺昇		芦田昭二
平成	7	～	平成	10	鈴木桂祐	千布哲男	大谷整一	芦田昭二
						北谷竹生		松村強
平成	10	～	平成	13	松村強	大谷整一	北谷竹生	春名誠
						武市進		佐藤達彦
平成	13	～	平成	16	大谷整一	春名誠	佐藤達彦	樋上雅一
						山崎隆之介	幸島邦晴	野瀬泰良
平成	16	～	平成	19	大谷整一	春名誠	佐藤達彦	樋上雅一
						山崎隆之介	幸島邦晴	武市進
平成	19	～	平成	22	樋上雅一	山崎隆之介	野瀬泰良	春名誠
						幸島邦晴	住永哲一	加藤進
平成	22	～	平成	25	樋上雅一	山崎隆之介	野瀬泰良	春名誠
						加藤進	江川洋一	佐藤雄久
平成	25	～	平成	28	樋上雅一	白川靖洋	武市進	江川洋一
						田中証	十菱秀子	原川和子

任期				運営委員長	会計監査		事務局長	
昭和	41	～	昭和	44		岡田英助	西川俊一	吉田清吉
昭和	44	～	昭和	46		坂本功	森田与三	吉田清吉
昭和	46	～	昭和	48		坂本功	森田与三	吉田清吉
昭和	48	～	昭和	49		三島章二	岡本重信	吉田清吉
昭和	49	～	昭和	53		三島章二	岡本重信	吉田清吉
昭和	53	～	昭和	55		片木幸雄	片木了	吉田清吉
昭和	55	～	昭和	58	荒木恵一	田代鄭二	片木幸雄	吉田清吉
昭和	58	～	昭和	61	鈴木桂祐	田代鄭二	片木幸雄	吉田清吉
昭和	61	～	平成	1	俣野幸昌	片木幸雄	西尾兵衛	荒木恵一

大阪教区栄える会歴代役員名簿



二代目 西森利明会頭

このあと先生を囲んで新年祝賀会を開いたことです。有名先生の講演会とホテルや旅館での新年宴会は、個人では行く機会のない大阪人にはびつたりの企画でした。

栄える会発足年度の石切での新年会は66名でしたが、次の43年は、当時の有名旅館のひとつに数えられていた「大乃や」で開催しました。その時は128名、翌年は180名、その次は羽衣の「新東洋」で、足の便が遠方にも拘らず199名という予想以上の盛会でした。

初代の鈴木会頭時代は、このように普通一般の講演会でも名高い本部講師と有名会社の社長クラスの体験講演で、会員様にも誌友様にも大変満足して頂き、尚真理の面より一層深めていただく意味で、翌年の9月には信貴山で一泊繁栄講座を開催しました。これも生長の家としても、栄える会としても新規の試みでありまして、一泊しての勉強会ですから受講者数を心配していましたが、案ずるより生むが易しというように、173名の方が参加して下さいました。

続いて次の年には犬鳴山の「白雲閣」で一泊繁栄講座を3名の講師を迎えて開催しましたが、奥山の険路にも拘らず、145名が参加されました。このように初代会長として、栄える会を特長づける新企画に、又行事毎に入会者も多くなり、発足当時の年会費は千円という今では信じられない金額でしたが、臨時会費もあつてそれでも結構黒字で続けられました。

(2) 二代目・西森利明会頭の時代

創業以来、初代会頭は将来への大きな発展を夢見て、新規行事を計画・実施して4年目を迎えました。その年の春より健康優れず、守口市で大きく事業を進展されていました豊国(株)の西森社長に後事を託され、初代会頭として大きな功績を残されて惜しまれながら辞職されたのです。

二代目会頭に就任して頂きました豊国(株)社長、西森利明先生は、生長の家によって救われた体験者であり、知る人ぞ知る偉大な人格者でございました。運営上の難関は必ず他の役員に回り、独善的な行動は一切なされず、事務方にも必ず相談の上、決意され実行された、大会社にしてこの社長あり、と言われたほどの最適なる二代目会頭さんでした。

任期中の功績は練成を中心とした宇治一泊見真会でした。生長の家の信徒・誌友である以上、宇治練成を受講することは必要条件であります。会頭就任早々、年を重ねて会員の宇治練成を実施されたことは、一同の大きな喜びでした。

それに加えて特筆すべきなのは、未だ嘗てどこの教区の栄える会にも成し得なかった海外研修旅行でした。生長の家は、宇宙を指していますから、栄える会の大きな夢は日本という小さな一国ではありません。世界を目標としているのですから、世界を知ろうというのは当然です。その目的の為に海外研修旅行が提案され、いよいよ実践されたのです。

その第一回はハワイでした。

これは大阪教区としても大きな話題になり、その当時はまだ一般にはハワイ旅行は夢だっ

栄える会初代事務局長
吉田清吉



初代 鈴木幸三郎会頭

大阪教区栄える会は、今日、松村会頭の指導のもとに新しい方針が掲げられ、生き生きと発展・飛躍しています。だが残念なのは、会の誕生から素晴らしい現在の体制に至るまでの三十有余年間の歴史を知る方がほとんど少なくなってしまうことでもあります。

この機関誌「輝くなにわ」の創刊号は、昭和60年1月に、当時事務局長の現職にあった私が、心魂こめて編集し発刊させていただきました。爾来平成6年まで編集を続けさせて頂き、私にとっては切っても切れぬ関係の機関誌です。で、会員の皆様にご参考になる記事として何を書かせて頂くか、と戸惑いましたが、国には国の「歴史」あり、会社にはその会社の「歴史」があるように、組織としての栄える会にも栄える会としての立派な「歴史」がありますので、その「歴史」をと思い、筆を執らせて頂きました。

(1) 初代・鈴木幸三郎会頭の時代

大阪にこの栄える会が発足したのは、全国にも未だ希な昭和41年でした。選ばれた歴代の会頭の方々は、その責任の重大さに任期中、どれだけご苦勞をされ、人並み外れたご活躍をして頂いたかは申し上げるまでもありません。皆様のご献身の結果が、今日のこの発展に繋がっていることを思います時、創業

以来の会頭の方々のご功績を絶賛せずにはおられません。

昭和41年9月18日に商都大阪に、生長の家栄える会の産声が挙がりました。全国栄える会の生みの親と云われていた徳久克己本部講師を迎えて教化部大講堂で325名という満員の聴衆の中で発会式と共に初講演会が開催されたのです。

開会式は盛会でしたが、まだ会は外から見れば海のものとも山のものとも分かりません。先ずは相・白・講の組織から関心のある方に役員になって頂き、最初の会頭として推薦申し上げたのが、鈴木油脂(株)の当時の社長であり、教化部の幹事でもありました鈴木幸三郎先生でした。

その人物たるや、温厚と誠実さは定評があり、一旦引き受けられた以上はその重責を感じ、将来への発展に大きく羽ばたく運動を展開して下さいました。これまで各組織ではやっていなかった栄える会ならではの画期的運動として隔月に教団では名高い本部講師1名と、生長の家の真理を実践して繁栄しておられる会社の代表者を1名招き、合わせて2名の優秀なる講師による講演会開催を実行されたのです。

それにもうひとつ、会員の皆様に喜んで頂いたのは、有名な観光地にある会場や名だたる旅館・ホテルにて新年特別講演会を開催、



三代目 西田正一会頭

たのです。その夢が、栄える会に入ったら実現できる！と云うので入会の申し込み者も多く、当時団体扱いができる25名を目標に募集を始めたところ、蓋を開けたら150名もの予想を絶する人数となったのでございます。これには提案者の私も驚きました。このハワイ研修旅行には、当時の羽島教化部長ご夫婦、河田府連会長ご夫婦、田村講師会長等、教化部幹部の皆様がご夫婦又は単独で参加して頂きました。

時は正に昭和48年3月9日、到着も時差の関係で同日の現地時間9時でした。ハワイ全島の生長の家誌友が、祖国日本から150人もの同じ教えを頂く幹部、誌友が来るというので、それはそれは大層な歓迎でした。それだけでなく、春の記念式典を、栄える会一行の大阪からの渡来に併せて、日米合同で開催できるように企画して下さっていたのです。この日米合同「生長の家立教記念祝賀式典」並びに「祝賀歓迎大会」は実に熱狂的なものであり、事前の想像を絶するものがありました。これも西森会頭先生のご人徳の然らしめるところであつたように思います。

初代会頭に続いて2代会頭西森先生も新しい企画を連発なさつて会員の皆様には喜んで頂きましたが、もうひとつ忘れてならない思い出の中に、札幌教化部訪問による、札幌・大阪交流合同講演会があります。これは見学旅行を兼ねたようなものですが、札幌教化部での岩田教化部長と大阪の羽島教化部長の講演は、当日参加の聴衆を感激の坩堝に閉じ込めてしまいました。これは西森会頭2年目の

46年7月17日のことでしたが、124名もの人が大阪から参加して下さいました。

初代・鈴木幸三郎会頭の時代から引き続き隔月に2名の講師で講演会を開催していましたが、当時の記録を見ますと参加者は毎回200名前後にも達し、満5周年大会の記念イベントには371名もの人が集まるほどの盛大な行事が举行できるようになりました。

私はこのように「歴史」を知ることが、先人への感謝の念を思いおこさせ、今後一層の発展への内なる原動力を引き出すことに繋がるのだと確信いたしています。次回は3代目の西田正一会頭の時代のお話をいたしましょう。

(3) 三代目 西田正一会頭の時代

栄える会に多くの業績を残して西森会頭は昭和49年10月に、近鉄山本駅前に本社を構える西田建設(株)の西田正一社長に三代目会頭のバトンを渡されました。西田会頭は更に創意を加えられて会の発展に尽くされました。大臣クラスの経歴を持つ政界の大物代議士を講演者として招聘して、日本の将来を考える時局講演会を開催するという珍しくて画期的な企画もありました。

この頃になると栄える会も全国組織として大きく発展し、中央部主催による全国大会や日本を各ブロックに分けたブロック大会が開催されるようになり、近畿ブロックの中心である大阪の会頭として、西田正一会頭は大きな期待を一身に受け、愛車ベンツを北陸から



四代目 西森利明会頭

東海まで駆使されて、栄える会運動発展の為に尽くされたのです。

会頭当時は既に会社も隆々と発展され、建設業界に大きく貢献なさつていた西田社長ではあります。栄える会会頭として活躍される迄は、色々と変遷もあり、波瀾の人生を経験なされた苦勞人だったのです。

昭和20年秋、長く住まわれた朝鮮の釜山から敗戦の日本に親子4人で引き揚げて来られました。暫くは住む家もなく奥様の郷里の枚岡町(今の東大阪市)にあった妹様のところから鉄鋼会社勤務しておられました。

ある日、自分の家を探そうと周旋屋に行かれるのですが、このことが今後の運命を大きく好転させるご縁となるのです。この後、なさること総てがうまく運ぶようになるのです。

後日、先生はこの原因を、偶然巡り合せた機会でも、自分の運強さでもなく、その熱心な奥様の生長の家の信仰と、平素お祈りしていたご先祖の供養のお蔭であつたとしみじみと述懐なされていたのです。これが建設業界に転身された動機でした。

西田先生には出発時点から資金があつた訳ではありません。そこで古い家を買取られ、手を加えて新装のようにして売り出したところ、飛ぶように売れたのです。このようにして次第に豊かになられ、やがて宅地造成をして家を建てて売り出そうとなさると、家が出来上がらない内から契約金が入ってくるほど好調に事業は発展して行きました。一時、多額納税者にお名前を連ねるほどになりましたが、これも皆、御教えのお蔭と感謝して

ますと謙虚に語っておいでになりました。

この西田会頭には栄える会の発展史上忘れてはならないことがありました。法人会員の制度ができた昭和57年には、大阪でも11社しかありませんでしたが、その翌年末には一挙に10倍の110社という飛躍的增加に達したのです。これは生長の家トップセミナー(S・T・S)という生長の家の会員として大会社の社長だけの集まりが、昭和58年に解散して、メンバーが法人会員として栄える会に入会してきたからなのです。

このS・T・Sという会は、東京、名古屋、大阪の3都市に昭和45年に発足いたしました。会員は選ばれた大きな会社の社長ばかりでしたから、その催しも実に豪華でした。毎年一回ある上記3都市の超一流ホテルにて開催されるS・T・Sの合同講演会は、その当時副総裁であられた谷口清超先生のご指導が頂ける一泊二日の素晴らしい行事だったので

私が申し上げたいのは、このS・T・Sの13年もの長い間、会員のお世話を西田正一会頭がして下さいましたことなのです。S・T・Sは毎月一度も欠かすことなくホテルで行事を開催して参りました。指導講師として前半は徳久克己先生、後半は田中忠雄先生が、来阪してお帰りになるのですが、その一切の送迎、宿泊、接待などの行き届いたお世話は、実際となるとそれは大変でした。このようなことを喜んでご奉仕頂いたのが西田会頭だったのです。その功績にはどんなに感謝しても感謝し尽くせないものがあります。西田会頭



五代目 宮澤廣孝会頭

(5) 五代目 宮澤 廣孝会頭の時代

再度の会頭にご選任されました四代目の西森会頭先生も偉大なる多くの実績を残され、平成元年11月の改選期に定年となられました。次期会頭にこれまで長い間副会頭としてご活躍して頂きました(株)大正舎密工業所社長宮澤廣孝先生が全役員から推薦され五代目会頭として就任頂くことになりました。社名の「舎密」はセイミと読み、セイミとはオランダ語で化学のことだそうです。今は(株)大正セイミと改名されています。宮澤会頭先生は素晴らしいご体験を通して生長の家に入信された方で、会社の経営方針にも教えがそのまま実践されているそうです。

長い間の心臓病が一冊の生長の家を読んだだけで「病気はナイ、あるのは実相のみ」と悟られた後は健康になられ、会頭として立派に活躍されました。副会頭時代には新規開拓に大いに盡され、本部からの目標を突破して表彰される等、多くの実績が今も生かされています。

平成3年12月15日大阪栄える会発足25周年大会が東洋ホテルで開催されました。これまでの関係役員一同をご招待申し上げ大盛会裡に終わりました。これも宮澤会頭先生ならでの発案であり企画であり、栄える会として記念すべき大行事であったと思います。亦会員数も平成元年には511名でしたが、3年には633名となり、5年には804名という最高の会員数となりました。全国でもトップに位する成果を挙げることが出来たのも、宮澤会頭先生の偉業に他ならないと

存じます。

生い立ちの記の連載を終えて

これまで3回に涉って初代会頭から五代会頭に至るまでの各会頭様のご活躍の成果を書かせて頂きましたが、これも私が初代会頭当時から栄える会事務局長として、事務全般をお世話させて頂き、定年後も10年間専任させて頂きましたので、各会頭様の栄える会発展に対する純真なる信仰心から来る無私なる情熱がよく分かれて頂き、唯々合掌あるのみでございます。せめてその一端を皆様にもと思つてペンを執らせて頂きましたが拙文かつ意を得ていないことをここにお詫び申し上げます。次第でございます。第五代の宮澤会頭先生がご就任され、益々発展の途中、平成5年4月1日から事務を引き継いで下さる須藤圭三様が来て頂き、発足41年以来の会計から事務全般をお渡し致し、平成6年12月まで支部育成のお手伝いをして年末に退職させて頂きました。

教化部にて初代事務局長として奉職しましたのが50歳でした。そして退職が80歳でしたので丁度30年間、教化部にて皆様の暖かいご愛念の中で過ごさせて頂きました。この30年間を顧みますと万感交々で胸につまるものがあります。本当に長い間教化部の皆様、特に栄える会の皆様にはお世話になりました。

今後の益々の発展とご健勝をお祈り申し上げ、この原稿を終わらせて頂きます。

S49.8月
ブラジル伝道本部視察旅行

は四国八十八ヶ所詣りを3ヶ年連続で実施され、また海外視察旅行ではブラジル、メキシコ、オーストラリア、東南アジア等多くの会員様に喜ばれる行事を残して3期間の長い間、お尽くし頂きまして次期会頭様と交代されました。本当にありがとうございました。

(4) 四代目 西森利明会頭の時代

法人会員の前身となりました関西STSの全期を一貫してお世話して下さいました西田会頭先生の偉業は前回に申しましたが、昭和58年10月の生長の家組織改選期にその任期を全うされて四代目会頭にバトン渡して頂くことになりました。その四代目会頭として就任頂きましたのが、本社を教化部に近いハイハイタウンのビルに置き、美しい山と忍者の町で知られた三重県上野市にある広大な土地に大きな工場を建て、事務用家具製造業としてトップメーカーの豊国工業(株)西森利明社長でした。既に二代目会頭として、当時未だ発展途上にあった栄える会を大きく育成して頂いた功績者だったのです。

この西森会頭が再び四代目会頭となり更に発展、内容も充実すると共に、その存在が広く認められるようになりました。小さな組織として誕生しました栄える会本部も、今や全国的な組織を完備して、大きく発展し、副総裁先生ご指導による全国大会も9回を迎えることになりました。再度の会頭ご就任1年足らずしてこの栄える会本部主催による全国大会が大阪で開催されることになり、その一切の責任を地元大阪で引き受けることになった

のです。

この全国大会は特別繁栄ゼミナールと共に昭和60年2月8日から3日間、西区厚生年金会館にて開催されましたが、この重責を見事果たされ、しかも全国大会では前例にない2,161名の参加を達成され大阪栄える会会員も659名が参加しました。多くの役員幹部の皆様にご協力を頂き、かつ全会員のご支援あればこそではあります。これも陣頭に立ってご指導された西森会頭の偉大なる成果と申し上げるべきだと思います。

全国組織となった栄える会も会員の増加に伴い、行き届いた運動展開として、各府県に支部制度発足の提案があり、これに早速対応されたのが西森会頭でした。昭和61年12月には阿倍野、北なにわ、北、中央、豊楽、京阪、堺の7支部が発足して結成辞令が交付されました。翌年早々に和泉、阪和、東大阪、城東鶴見等結成され最終的には20支部が結成されました。日本一の支部数となりました。この他、海外経済視察ではハワイ実相センター、香港、中国、ヨーロッパ、カナダ、ニューヨーク等多くの有意義な業績と成果を挙げられて平成元年の改選期までご活躍頂きました。

これまで四会頭先生の偉大なる功績と成果を書かせて頂きましたが、ここで忘れてはならないことがございます。それはこれらの偉業を達成するまでに多くの幹部役員様のご奉仕があったからです。特に副会頭として6期にわたる春名徳雄副会頭様、4期に及ぶ田代鄭二副会頭様のご献身には今でも感謝の一語につけることを申し述べたいと思います。

二十五年の足跡 ～二十五周年大会から今日まで～



六代目 鈴木桂祐会頭

「大阪教区栄える会」の発足二十五周年記念大会・支部結成五周年大会が、平成三年に東洋ホテルにて開催され、それまでの歴史が「生長の家大阪府栄える会二十五史」として編纂された。また、初代事務局長・吉田清吉氏が「輝くなにわ」において「大阪教区栄える会生い立ちの記」と題して、三十年余りの歴史を記しておられるので、ここでは、それ以降の足跡を、「輝くなにわ」「七宝の塔」をもとに辿ってみたいと思う。

平成四年以降の宮澤会頭の時代、運動の大きな成果としては、平成五年六月、会員拡大として生長の家栄える会が取り組んできた、「会員一万」を達成。大阪においても、法人会員三六〇社、個人会員四四四名の目標を突破し総本山奥津城において奉告祭が執り行われたこと、五つの支部が結成され、二〇支部が達成されたことが上げられる。また、平成七年八月、生長の家副総裁（当時）・谷口雅宣先生の東アジアご巡錫の最後を飾る、生長の家の初国際大会が香港で開催され、大阪教区より一一五名が参加された。松村強氏は、『どんな人とも、どんなものとも調和して生きる教え、他のどんな人にも、どんなものも拒否せずに受け入れることのできる教え、こんなに愛に満ちた慈悲深い広大な教えはどこにあるだろうか。天地一切のものを包容することができる「生長の家」の真理こそ、世界

人類を平和にできる唯一の素晴らしい真理であることを確信します。』（七宝の塔より抜粋）と感想を述べられている。

この頃、栄える会では毎月のように本部講師を招聘した講演会が開催されており、外部へ向けた真理の宣布が熱心に行われていたことが伺えます。また、この当時の事で忘れてはならないのが、大阪の栄える会が発足以来長年に渡り事務局長としてご尽力頂きました吉田清吉氏が退任されたことです。鈴木幸三郎会頭から宮澤廣孝会頭まで五代の会頭の下で栄える会の礎を築かれたご功績は後々まで語り継がれることでしょう。

平成七年十一月、二期六年間にわたり会頭を務められ、特に会員拡大と組織の充実に力を注いでこられた宮澤廣孝氏が退任。後任には、初代会頭・鈴木幸三郎氏のご子息で鈴木油脂工業社長の鈴木桂祐氏が第六代会頭に就任されました。

就任の挨拶で「三正行」の徹底、「行」に力点を注ぐことを宣言された鈴木会頭は、その言葉通り、当時の森田征史教化部長ご指導による早朝神想観の開催を「ホテル・コンソルト」において始められた。また、法人会員が聖使命会に入会すること（会社が如意自在に発展するため）、生長の家の繁栄の原理を自らが体得し、他の人にも進んでお伝えし会得してもらうこと等、神意に基づく事業活動



七代目 松村強会頭

の原点を自覚することが大切であると示され、教区栄える会の発展に尽くされました。この時代、大阪教区にとって大きな慶事は、会頭を退任後も中央部の副会長として活躍された宮澤廣孝氏が生長の家栄える会会長に就任されたことである。栄える会としても、前回を三〇一名上回る八九九名が受講され感動の講習会となったことが記録に残されています。

更に特筆すべきこととして、平成十年二月、大阪教区の全体での行事である大講習会が、前年に新設された「大阪ドーム」に於いて開催され、三六、四九四名もの記録的な参加者が参集したことである。栄える会としても、前回は三〇一名上回る八九九名が受講され感動の講習会となったことが記録に残されています。

平成十年十月、鈴木桂祐氏の後を受けて、ハクタカ工業社長の松村強氏が第七代会頭にご就任。この頃、栄える会の長い歴史を綴ってきた機関誌「なにわ」が休刊となり、「輝くなにわ」と名称を改めて発行されるまでの間のことが余り残されていないが、渡部昇一氏中條高德氏といった著名人を招聘した「一般公開セミナー」が毎年開催されていたこと、釣りやゴルフ、ソフトボール、ボウリング等の懇親行事が行われ、会員間の交流が盛んに行われていたこと等が記されています。

平成十二年、中央部の決定により会員制度が変わり、従来の法人会員と個人会員が一本化されたこと、平成十三年三月、生長の家春季記念日において、宮澤廣孝氏が「二重光輪賞」を受賞されたのもこの時代の事です。松村会頭は、支部の活性化、幹部研修会の充実、徳積愛行の実践、会員懇親行事の開催

ホームページの開設、環境保全の配慮等を組み入れた運動方針を掲げて取り組みました。が、体調を崩され一期三年で退任されたことは誠に残念なことでした。

平成十三年十月、役員改選により、大谷整一氏が第八代目の会頭に就任されました。大谷会頭の時代にも、神渡良平氏、村上和雄氏等を招聘した「一般公開セミナー」や「繁栄ゼミナール」が頻繁に開催されておりましたが、特に記憶に残るものとして三つの行事がございました。

一つ目は、平成十四年のハワイ研修旅行です。当時の事を団長として参加された大谷整一氏が記されていますので、そのまま掲載させて頂きます。

『九月十一日～十七日の栄える会有志一九名のハワイ研修旅行に際しましては、ハワイ教区岩谷レスリー教化部長ご夫妻と高本部講師補をはじめハワイ教区の皆様のご愛念とご協力をいただき、また山崎副会頭ご夫妻の行き届いたお世話により、充実した楽しい旅行となりましたこと、心より厚く御礼申し上げます。まことに有難うございました。』

この度のツアーは、前年九月十一日の同時テロの犠牲者三、三〇〇人の慰霊祭当日となり、パンチボールの丘（国立墓地）を訪ねて御霊に「大調和の神示」を拝読し、献花を行いました。その日の夕方、森田教化部長ご推薦の「実相センター」を訪ね、一泊見真会と慰霊祭をハワイの詰友の皆様と行い、キャンドルサービスを捧げました。夜の食事はボランティアの皆様のご愛念で素晴らしく美味しい刺



八代目 大谷整一会頭

身、スキヤキ、味噌汁で舌つつみ。十四日は「実相センター」で一日見真会、五人の方々が体験談を英語日本語で交互に発表、感動編。十五日はサンデーサービス、山崎さんの体験発表、感動しきり、握手攻め。要所に三日間の研修を入れたため、自由行動日の開放感ひとしお。オプショナルツアー、ゴルフ、海水浴、ダイヤモンドヘッド登山、ショッピング等自由で楽しい思い出となりました。今回のツアーでは何よりもハワイの皆様と心の交流ができ、懇親できましたこと、高本部講師補に見真会の準備、進行、出演と目のまわるお世話をかけましたこと、山崎副会頭ご夫妻に行き届いたお世話をいただいたこと等、真心の大切さを学びました。また島めぐりやゴルフ、水泳等のレジャーが開放感一杯であったこと、夜の食事がどれも超一流店でサンセットよし、味もよし、楽しい雰囲気もよしでありました。

帰路ホノルル空港に五彩の虹が現じ、JALの座席はエグゼクティブで楽々フライトも有難く。最後につつがなく帰国できましたことと神に感謝いたします。ありがとうございます。』

二つ目は、千名の受講者目標を掲げた大阪ドームでの最後の大講習会に、前回は一七六名も上回る一、〇四六名もの参加者を結集し見事に目標を突破したことです。大谷会頭以下、役員、幹部、会員の皆様が一丸となって「必ずや目標を達成するんだ」との熱く強い思いが花開いたのです。

三つ目は、相愛会と合同で開催された高野

山一泊見真会です。平成十五年八月、金剛三昧院で開催された見真会には、総勢四十一名、栄える会より二十一名が参加、翌年より会場を福智院に変え、平成十七年まで開催されました。当時の教化部長・妹尾壽夫先生も忘れられない行事として「お祝いのことば」に書かれております。

三回目の見真会では、早朝行事からぎつしり詰め込む研修会が行なわれ、妹尾教化部長のご指導と共に、高野山真言宗宗務総長・総本山金剛峯寺執行長の土生川正道導師による講話が行われたと記されております。

平成十六年十一月七日、大阪教区の歴史の中で忘れられない日がやって来しました。信徒一同の熱願であった新教化部会館がついに完成し、落慶捧堂記念式典が盛大に執り行われた日です。当日は本部の吉田理事長、吉倉修三先生、多くのご来賓をはじめとして千名程が参集。式典が行われた大拝殿だけでは収容出来ず、中道場等各階の会場にもわかれ、共に慶びを分かち合いましたことが懐かしく思い出されます。

二期六年にわたる大谷会頭の時代は、歴史に残る多くの出来事がございましたが、その中において、大谷会頭の愛深いご人格と「肉体無し病無し」を実証された深い信仰心により多くの人々を導かれ、大阪教区栄える会の発展に寄与されましたことは皆様もご承知の事でしょう。そして現在も顧問として栄える会をお導き下さいますことは誠に有難いことでございます。

平成十九年十月、樋上雅一氏が第九代目の



九代目 樋上雅一会頭

会頭として就任されました。

就任の翌年、平成二十年七月二十日、大阪教区がホスト教区となつて全国の栄える会から受講者をお迎えする「第三十五回生長の家繁栄特別ゼミナール」が大阪国際会議場において開催されました。午前には、中央支部の白川靖洋さん他一名による体験談発表、植田茂樹本部講師、教化部長・妹尾壽夫本部講師によるご講話、そして午後からは、ゲスト講師・田坂広志多摩大学大学院教授の講演が行われ、会場は記録更新となる二、二三九名の受講者（大阪教区の受講者は八五九名）が参集し、昼食の弁当を追加注文するほどの大盛会となったのです。

当日、田坂教授は日本経済を取り巻く国際環境についてのお話しを予定されていたよう資料まで用意頂いておりましたが、会場の雰囲気を感じられたからでしょうか、舞台に立たれた教授が、『・・・特に部下や従業員を持つ企業の経営者、管理職の心がけには厳しい倫理観をもってお話しされました。それが宗教に入る原因にもなった逆境の体験こそが、人生を成功に導くものだ、そしてその逆境を克服するのに必要なのが和解と感謝なのだ、つまり「大調和の神示」を実践するのみなのだ・・・』とお話しに正直驚きました。

田坂教授の講演は、内容もさることながら、神の御心を実践しようとなさるひたむきな姿勢に多くの参加者が心を打たれたことが記されており、栄える会の長い歴史の中でも特筆すべき行事であつたことが伺い知れます。

樋上会頭は、持ち前の積極性と愛深さ、絶対的な中心帰一による信仰心で会員拡大や支部の活性化に努められ、栄える会を発展へと導いて来られました。現在、生長の家が取り組む「神・自然・人間の大調和」実現に向けた「自然と共に伸びる運動」にも力を注いで来られました。

その一つとして、平成二十二年より始まつた「命の輝き共生の森」での活動において、大阪教区の信徒や地域の方々が参加する「植樹祭」を昨年まで七回開催。

七、六五〇本もの植樹が行われたことは皆様の記憶に新しいところです。共生の森ではそれ以外にも、ビオトープの整備や希少生物の育成等の環境保全にも取り組んでおり、その成果が大阪府に認められ、この八月二十九日に「おおさか環境賞」の準大賞を受賞いたしました。

また、平成二十五年から、眞藤忠雅氏をリーダーとして「環境ビジネス勉強会」を開催。平成二十七年には、環境省が定めた環境経営システム「エコアクション21」の認証登録を目指したスクールを栄える会として開催し、参加事業所の中より四社が認証登録されました。

このように、運動方針に沿った運動を展開され、次々と成果を上げられた樋上会頭は、今年の三月、栄える会会長に就任されましたので、九月末までの期間、副会頭の田中証氏が会頭の任を代行され現在に至っております。

樋上会頭の時代には、平成二十二年に元会頭の鈴木桂祐氏、平成二十八年には前会頭・

行事記録

OSAKA
50



麻野秀明新会頭

大谷整一氏が二重光輪賞を受賞されたことも大きな慶事でした。
この度、定期役員改選が行われ、十月からの新会頭に、泉州支部の麻野秀明氏の就任が決まりました。栄える会の新たな歴史が刻まれていくことと喜ばしく存じます。
以上、記録として残されている発足二十五年以降の資料を歴代の会頭の時代に沿ってまとめさせていただきましす。
それぞれの時代には、数多くの取り組みや出来事でしたが、すべてを書ききれませんでしたことご容赦いただきましたら有り難く存じます。
(おわり)



エコアクション21スクールの様子



「生い立ちの記」連載当時の「輝くになにわ」



年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	7	1	22	新春講演会	吉倉修三	東洋ホテル	
			2	17 繁栄ゼミナール	後藤静彦	東洋ホテル	
			26	特別講演会	長田忍	大阪教化部	
			3	10 繁栄ゼミナール	水越繁雄	東洋ホテル	
			4	25 繁栄ゼミナール	中島省治	東洋ホテル	
			5	17 繁栄ゼミナール	松下昭	東洋ホテル	
			6	4 総会記念講演会	北尾巳代次	大阪教化部	
			6	16 繁栄ゼミナール	清水昌夫	東洋ホテル	
			7	14 繁栄ゼミナール	阿部洋大	東洋ホテル	
			9	19 繁栄ゼミナール	三浦晃太郎	東洋ホテル	
			11	17 繁栄ゼミナール	大槻知秀	東洋ホテル	
			12	10 特別講演会	本田恵	東洋ホテル	

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	8	1	21	新春講演会	吉倉修三	東洋ホテル	
			2	23 繁栄ゼミナール	廣崎清一	東洋ホテル	
			3	22 繁栄ゼミナール	大和七生	東洋ホテル	
			4	27 特別講演会	森田征史	東洋ホテル	
			5	13 繁栄ゼミナール	清水昌夫	東洋ホテル	
			5	18 総会記念講演会	森田征史	大阪教化部	
			6	29 幹部研修会	森田征史 三好雅則	東洋ホテル	
			7	19 繁栄ゼミナール	葉室頼昭	東洋ホテル	
			11	26 繁栄ゼミナール	宮澤廣孝	東洋ホテル	
			12	1 特別講演会	長谷川裕一	東洋ホテル	

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	9	1	14	経営実践セミナー	森田征史 小田晋 和田一夫	大阪商工会議所	
			19	新春講演会	森田征史	東洋ホテル	
			3	21 繁栄ゼミナール	廣崎清一	東洋ホテル	
			4	15 繁栄ゼミナール	森田征史	東洋ホテル	
			5	18 総会記念講演会	森田征史	大阪教化部	
			6	17 繁栄ゼミナール	森田征史	東洋ホテル	
			7	5 幹部研修会	森田征史	東洋ホテル	
			7	15 繁栄ゼミナール	森田征史	東洋ホテル	
			9	16 繁栄ゼミナール	森田征史	東洋ホテル	
			10	18 一般公開セミナー	森田征史 松野宗純	門真市ルミエールホール	
			11	15 繁栄ゼミナール	森田征史	東洋ホテル	
			12	14 特別講演会	三浦晃太郎	東洋ホテル	

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	10	1	10	決起大会	森田征史	大阪コクサイホテル	
			3	24 繁栄ゼミナール	森田征史	東洋ホテル	
			4	15 繁栄ゼミナール	金子美代子	東洋ホテル	60
			5	31 総会記念講演会	森田征史	大阪教化部	65
			6	12 繁栄ゼミナール	牛山精一	東洋ホテル	57
			7	12 幹部研修会	森田征史 宮澤廣孝	大阪教化部	31
			7	17 繁栄ゼミナール	小島豊	東洋ホテル	61
			9	18 繁栄ゼミナール	鐘泉	たかつガーデン	59
			10	12 繁栄ゼミナール	廣崎清一	東洋ホテル	52
			11	7 一般公開セミナー	三浦晃太郎 渡部昇一	大阪商工会議所	376
			12	14 決起大会	森田征史	東洋ホテル	85

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	4	1	26	新春講演会	吉倉修三	キャッスルホテル	104
			2	25 繁栄ゼミナール	広崎清一	東洋ホテル	91
			3	17 繁栄講演会	北尾巳代次 首藤義信	大阪教化部	585
			19	繁栄ゼミナール	木下隆徳	東洋ホテル	47
			4	22 繁栄ゼミナール	人見米吉	東洋ホテル	47
			26	繁栄講演会	吉田晴彦	大阪教化部	98
			5	17 総会記念講演会	妹尾壽夫	大阪教化部	476
			27	繁栄ゼミナール	松山泰夫	東洋ホテル	52
			6	27 繁栄ゼミナール	吉田武利	東洋ホテル	65
			28	繁栄講演会	吉田武利	東洋ホテル	120
			7	4 幹部研修会	吉倉修三	キャッスルホテル	55
			8	8 繁栄ゼミナール	徳久克己	東洋ホテル	122

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	5	1	17	新春講演会	吉倉修三	キャッスルホテル	100
			3	7 繁栄講演会	楠本加美野	大阪教化部	212
			8	繁栄ゼミナール	西端春枝	東洋ホテル	80
			4	11 特別講演会	雪島達史	大阪教化部	
			23	繁栄ゼミナール	藤井正基	東洋ホテル	
			5	9 総会記念講演会	竹岡博文	大阪教化部	
			25	繁栄ゼミナール	松山泰夫	キャッスルホテル	
			6	21 繁栄ゼミナール	伊藤勝啓	東洋ホテル	
			27	特別講演会	堀内昭市	大阪教化部	
			7	17 幹部研修会	吉倉修三	キャッスルホテル	
			7	20 繁栄ゼミナール	清水昌夫	東洋ホテル	
			8	27 繁栄ゼミナール	後藤静彦	東洋ホテル	

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	6	1	16	新春講演会	吉倉修三	東洋ホテル	
			2	22 繁栄ゼミナール	廣崎清一	東洋ホテル	
			27	特別講演会	廣尾茂	大阪教化部	
			3	6 特別講演会	榎本恵吾	大阪教化部	
			16	繁栄ゼミナール	本田光充郎	東洋ホテル	
			4	10 特別講演会	岡田眞一	大阪教化部	
			21	繁栄ゼミナール	佐野一郎	東洋ホテル	
			5	16 繁栄ゼミナール	高濱邦久	ホテルコンソルト	
			29	総会記念講演会	本田光充郎	大阪教化部	
			6	14 繁栄ゼミナール	阿部洋大	東洋ホテル	
			26	特別講演会	山口正義	大阪教化部	
			7	16 幹部研修会	吉倉修三	キャッスルホテル	

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	7	1	26	新春講演会	吉倉修三	キャッスルホテル	104
			2	25 繁栄ゼミナール	広崎清一	東洋ホテル	91
			3	17 繁栄講演会	北尾巳代次 首藤義信	大阪教化部	585
			19	繁栄ゼミナール	木下隆徳	東洋ホテル	47
			4	22 繁栄ゼミナール	人見米吉	東洋ホテル	47
			26	繁栄講演会	吉田晴彦	大阪教化部	98
			5	17 総会記念講演会	妹尾壽夫	大阪教化部	476
			27	繁栄ゼミナール	松山泰夫	東洋ホテル	52
			6	27 繁栄ゼミナール	吉田武利	東洋ホテル	65
			28	繁栄講演会	吉田武利	東洋ホテル	120
			7	4 幹部研修会	吉倉修三	キャッスルホテル	55
			8	8 繁栄ゼミナール	徳久克己	東洋ホテル	122

年度			行事名	講師	会場	参加者数
平成 16	2	1	繁栄ゼミナール	加治久典	ホテルコンソルト	120
	6	19	繁栄ゼミナール	茂森政	たかつガーデン	
	7	31～8/1	相栄合同研修会	森田征史	高野山福智院	48
	9	26	繁栄ゼミナール	谷口久次	ホテルアウィーナ大阪	138
	7	20	会員研修会	渡邊隆	阿倍野道場	50
	11	28	新教化部披露繁栄講演会	森田征史	大阪教化部	432

年度			行事名	講師	会場	参加者数
平成 17	1	30	繁栄ゼミナール	畑中良夫	大阪教化部	371
	2	22	繁栄ゼミナール	河村京子	ホテルコンソルト	60
	6	25～26	宇治一泊研修会	妹尾壽夫 松井八重子	宇治別格本山	74
	7	23～24	相栄合同研修会	妹尾壽夫	高野山福智院	47
	9	17	会員研修会	渡邊隆	阿倍野道場	50
	9	25	相栄合同繁栄講演会	佐野一郎	大阪教化部	373
	11	5	一般公開セミナー	妹尾壽夫 村上和雄	東大阪市市民会館	1,006
	12	17	繁栄講演会	妹尾壽夫	太閤園	83

年度	行事名		講師	会場	参加者数	
平成 18	1	29	繁栄ゼミナール	野津智	ホテルアウィーナ大阪	103
	6	3	繁栄ゼミナール	神谷光徳	トーコーシティホテル	160
	9	10	会員研修会	太野垣修二	阿倍野道場	50
	11	5	相栄合同ゼミナール	別府正大	たかつガーデン	125
	12	10	繁栄講演会	妹尾壽夫	太閤園	89

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	19	3	11	一般公開セミナー	妹尾壽夫 鍵山秀三郎	中之島中央公会堂	663
		7	15	繁栄ゼミナール	神谷光徳	大阪リバーサイドホテル	191
		10	28	一般公開セミナー	妹尾壽夫 神渡良平	国民会館	304
		11	10	会員研修会	赤松正喜	阿倍野道場	36
		12	9	繁栄講演会	妹尾壽夫	太閤園	83

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成 20	7	20	生長の家 繁栄特別セミナー	妹尾壽夫 植田茂樹 田坂広志	大阪国際会議場	859 (2239)	
			11	2			繁栄講演会

年度		行事名		講師	会場	参加者数
平成 21	1	18	繁栄講演会	妹尾壽夫	太閤園	99
	2	1	繁栄ゼミナール	安野啓義	大阪リバーサイドホテル	95
	6	20	繁栄講演会	杉合勲	大阪リバーサイドホテル	322
	9	26	繁栄講演会	呉善花	大阪教化部	322
	11	8	繁栄ゼミナール	中村全博	トーコーシティホテル	123

年度		行事名		講師	会場	参加者数
平成 22	1	24	講習会促進講演会	妹尾壽夫	太閤園	92
	3	21	講習会感謝の集い	神谷光徳	大阪リバーサイドホテル	56
	10	2	ブロック合同支部例会	妹尾壽夫 鈴木桂祐	大阪リバーサイドホテル	59
	11	7	教区繁栄ゼミナール	妹尾壽夫 中村全博 山本良一	大阪教化部	396
	12	4	ブロック合同支部例会	遊馬正	豊中商工会議所	50



H17. 11. 5村上和雄筑波大学名誉教授



H19. 10. 28 一般公開セミナー



H20. 7. 20 繁栄特別ゼミナール
田坂広志氏



H20. 7. 20 繁栄特別ゼミナール
大阪国際会議場



H22. 11. 7繁栄ゼミナール
山本良一東京大学名誉教授



H22. 12. 4 ブロック合同支部例会
遊馬正氏

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	11	3	19	繁栄ゼミナール	古川和子	東洋ホテル	53
		4	19	繁栄ゼミナール	丹羽隆志	東洋ホテル	
		5	30	総会記念講演会	森田征史	大阪教化部	
		6	18	繁栄ゼミナール	稲垣伸恵	東洋ホテル	
		7	10	幹部研修会	森田征史 渡辺重孝	阿倍野道場	
			23	繁栄ゼミナール	山岡隆宏	東洋ホテル	
		9	13	繁栄ゼミナール	竹岡博文	東洋ホテル	
		10	24	一般公開セミナー	森田征史 名城政次郎	国民会館	279
		11	12	繁栄ゼミナール	安川栄子	東洋ホテル	
		12	12	決起大会	森田征史	東洋ホテル	

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	12	3	22	繁栄ゼミナール	畑中良夫	東洋ホテル	
		5	21	総会記念講演会	宮澤廣孝	大阪教化部	
		6	13	繁栄ゼミナール	別府正大	東洋ホテル	
		7	28	繁栄ゼミナール	神谷光徳	東洋ホテル	
		9	10	一般公開セミナー	森田征史 呉善花	ドーンセンター	372
		9	24	幹部研修会	森田征史 松田正道	たかつガーデン	
		10	27	繁栄ゼミナール	長谷川裕一	東洋ホテル	
		12	10	決起大会	森田征史	東洋ホテル	

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	13	3	28	繁栄ゼミナール	尾山浩子	東洋ホテル	
				6	2	総会記念講演会	森田征史
	6	19	繁栄ゼミナール	牛山精一	東洋ホテル		
			7	29	一般公開セミナー	森田征史 中條高德	ドーンセンター
	8	26			会員研修会	森田征史 細川悌弘	たかつガーデン
			9	26	繁栄ゼミナール	安東巖	ホテルアウィーナ大阪
	10	24			繁栄ゼミナール	東澤忠夫	ホテルアウィーナ大阪
			12	9	決起大会	森田征史	ホテルアウィーナ大阪

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	14	3	14	繁栄ゼミナール	森藤左工門	東洋ホテル	
				5	17	繁栄ゼミナール	今井啓介
	6	2	総会記念講演会	森田征史	大阪教化部		
				7	28	一般公開セミナー	森田征史 下村澄
	8	26	会員研修会	森田征史 上野耕治	阿倍野道場		
				9	27	繁栄ゼミナール	徳山繁夫
	11	13	繁栄ゼミナール	長村省三	ホテルアウィーナ大阪		
				12	15	決起大会	森田征史

年度			行事名	講師	会場	参加者数
平成 15	3	14	繁栄ゼミナール	中城洋	東洋ホテル	
	5	28	繁栄ゼミナール	宮井正博	たかつガーデン	112
	6	1	総会記念講演会	森田征史	阿倍野道場	
	7	5	繁栄ゼミナール	澤丞造	エル大阪	115
	7	20	会員研修会	森田征史 多和田美子	阿倍野道場	
	8	22～23	相栄合同研修会	森田征史	高野山金剛三昧院	40
	9	21	一般公開セミナー	森田征史 神渡良平	エル大阪	579
	11	23	繁栄ゼミナール	佐藤昭一郎	ホテルアウィーナ大阪	75

＜視察旅行＞

年度				行事名	行き先	参加者数
平成	4	6	14～16	古窯訪問とみちのくの旅	仙台～鳴子～上の山～蔵王	66
	5	8	5～9	台湾・香港産業経済視察旅行	台湾～香港	52
	6	8	27～29	史跡探訪旅行	足立美術館～玉造温泉～隠岐	
	9	6	12～19	スペイン研修旅行	スペイン	30
	10	9	11～16	オーストラリア6日間の旅	ゴールドコースト～シドニー	14
	11	11	27～29	繁栄特別ゼミナール参加の研修旅行	小樽～札幌～登別	20
	12	11	12	秋の湖東三山研修バス旅行	滋賀県湖東	32
	14	9	11～17	ハワイ研修旅行	実相センター～各所	19
	27	6	27	メガソーラー見学と金刀比羅宮参拝ツアー	香川県メガソーラー～金刀比羅宮	24
	28	6	4～5	森の中のオフィス見学会	生長の家国際本部～諏訪大社	32



H27. 6. 27 金比羅宮参拝



H28. 6. 4～5 森の中のオフィス見学会



H14. 9. 11～17 ハワイ研修旅行

＜懇親行事＞

年度				行事名	行き先	参加者数
平成	5	8	22	南紀日の岬沖の釣り会	和歌山日の岬	12
	5	9	9	第1回ゴルフコンペ	北六甲カントリークラブ	14
	5	9	15	沖釣会	西宮沖	
	5	10	11	沖釣会	西宮沖	
	12	4	2	ボウリング大会	扶桑会館	
	12	11	3	ソフトボール大会	くにじまスポーツ	37
	13	4	8	春日大社団体参拝&奈良公園ウォーク	春日大社～東大寺～奈良公園	30
	13	5	26	魚つり大会	平磯海づり公園	26
	13	9	8	ボウリング大会	扶桑会館	
	13	11	3	ソフトボール大会	くにじまスポーツ	
	13	11	29	ゴルフ大会	花屋敷ゴルフ倶楽部	
	14	4	7	ミステリーロマン飛鳥ウォーク	奈良県飛鳥	18
	14	6	6	ゴルフ大会	蒲生カントリークラブ	20
	14	6	9	魚つり大会	和歌山北港魚つり公園	40
	14	10	12	ゴルフ大会	フェニックスゴルフクラブ	10
	14	11	3	ソフトボール大会	くにじまスポーツ	70
	15	6	29	魚つり大会	和歌浦雑賀崎親子釣りパーク	19
	15	11	1	ソフトボール大会	くにじまスポーツ	



H13. 5. 26魚つり大会



ソフトボール大会



ボウリング大会

年度			行事名	講師	会場	参加者数	
平成 23	1	22	ブロック合同支部例会	中城洋	大阪教化部	91	
		3	19	ブロック合同支部例会	大谷整一	阿倍野道場	92
		7	9	ブロック合同支部例会	妹尾壽夫 岡本敏雄	大阪教化部	95
		9	25	教区繁栄セミナー	妹尾壽夫 伊藤勝啓	大阪リバーサイドホテル	140



H23. 3. 19ブロック合同支部例会



H23. 9. 25教区繁栄ゼミナール

	年度		行事名	講師	会場	参加者数
平成 24	1	28	ブロック合同支部例会	妹尾壽夫 大山泰弘	大阪教化部	185
		6	2～3 幹部一泊見真会	樋上雅一	和泉道場	22
		7	7 ブロック合同支部例会	神谷光徳 入江富美子	大阪教化部	474
		9	23 教区繁栄ゼミナール	妹尾壽夫 秋山利輝	大阪リバーサイドホテル	230
		12	2 ブロック合同支部例会	妹尾壽夫 中井政嗣	大阪教化部	212



H24. 1. 28ブロック合同支部例会

	年度		行事名	講師	会場	参加者数
平成 25	3	2	ブロック合同支部例会	神谷光徳 入江富美子	大阪教化部	375
	5	25～26	幹部一泊見真会	楠本加美野	宇治別格本山	12
	6	23	ブロック合同支部例会	野津智	大阪教化部	105
	11	4	教区繁栄ゼミナール	妹尾寿夫 上甲晃	大阪リバーサイドホテル	217



H24. 7. 7ブロック合同支部例会

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	26	6	8	ブロック合同支部例会	久利修 飯田史彦	大阪教化部	368
		9	6	会員一日見真会	久利修	大阪教化部	31
		10	4	教区繁栄ゼミナール	久利修 保江邦夫	大阪教化部	651



H25. 11. 4教区繁栄ゼミナール
上甲晃氏

年度			行事名	講師	会場	参加者数
平成	27	3 7	会員一日見真会	久利修	大阪教化部	33
		6 21	ブロック合同支部例会	久利修 神吉武司	大阪教化部	213
		7 19	ブロック合同支部例会	久利修 鳥塚亮	大阪教化部	276
		12 13	ブロック合同支部例会	中東弘	太閤園	67



H25. 5. 25～26幹部一泊見真会

年度				行事名	講師	会場	参加者数
平成	28	2	7	会員一日見真会	久利修	大阪教化部	36
		9	11	50周年記念 教区繁栄セミナー	久利修 神谷光徳 松井八重子	太閤園	

これからの五十年のために

OSAKA
50

(第92号) 輝くなにわ 平成25年10月23日(水)

生長の家大阪教区栄える会会報 http://www.sakaerukai.com/

輝くなにわ

発行者・生長の家 大阪教区栄える会事務局 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5丁目6-15 TEL.06(6763)5436 E-mail-to-sakaeru@sakaerukai.com

平成25年
秋季号
Vol.92

眞理都市
大坂創造

花びら燦々一百運動に
栄える会も尽力しよう！

「定期役員改選と森の中のオフィス始動！」

大阪教区栄える会

会頭 樋上雅一

第5回植樹祭

環境・社会貢献
対策部長
後藤 清人

この度の定期役員改選により、頂く総会を拝受させて頂く事となりました。それは私に、更なる使命に取り組みようとする皆様からの叱咤激励と厳粛な受け止め、これまで以上に神の御心を生かす行を積ませて頂く所存でございます。

又この度、七十歳を過ぎるまで熱い志をもって光明化運動を展開し、栄える会を牽引して下さった加藤副会長、佐藤副会長、栗山支部長、齊藤支部長として定年を迎えられます支部役員の皆様方、聖なる使命遂行本道にありがとうございました。益々のご多幸ご健勝を心よりお祈り申し上げます。

皆様方のご尽力、ご愛念を積み重ね形成されました基盤の上に、栄える会活動がスタート致します。これから強い同志としての絆をもつて今後も指導・鞭撻頂きますようお願い申し上げます。

そして、新たに田中証副会頭、十菱孝子副会頭が二役として就任。また対策部長が三役として加藤、田中桑枝、新支部長として岡崎、大内麻、新野様が進出されました。森の役員の皆様よろしくお願い致します。

また、時を同じくして、「森の中のオフィス」がスタートします。

それは個人の繁栄に限定した利己的な「繁栄の時代」、は終わつたというところから、このことは今日の環境破壊を見れば明らかです。これからは、地球規模の繁栄の実現へ向かうのです。それは改定されてきた榮える会規約に記載されて

「真の繁栄を実現する共に・・・宗教心にまつても、地球温暖化の解決に取り組む産業人の集団を築き、組む人類光明化運動、国際平和と信仰運動の強力な推進実践体として、神・自然・人間が調和した、新しい文明、人間が構築に貢献する」を目的としています。それには、神の子を自覚体得する日々、三正行練成会での神性開発によって得られる。一切者の自覚であります。それは人・事・物の今と未来、次世代に伝ふるもので我が事として今生きる人々が日常の業務や家庭で取り組み実践することになります。木々の根が深く入り、また表面には腐葉土を10cm程堆排しています。この肥料が生育に役立ちます。また夏場は雑草が生い茂りますので、八尾土木事務所のご協力で年3回の草取り草刈りをさせて頂いています。

お陰様で木々も順調に生長しております。ご協力の皆さまの命の輝きが最大限に活かされる事に最大の喜びであります。

組合員様へ - 不動産売買 - 賃貸管理 - FIP業務

人に優しい住まい割り

株式会社 白川工務店

代表取締役 白川 靖洋

〒556-0021 大阪府東淀川区甲3丁-1-10
TEL:06-6568-1325 FAX:06-6568-7526
☎0120-07-1326
URL: http://www.shirakawakogyo.jp

株式会社 ライズ広告社

代表取締役社長
山崎隆之介
Ryunosuke Yamazaki

大阪府西区京町堀1-6-12F ライズビル6F
FAX:06(6481)6948
東京都港区西目黒2-19-2 西目黒YSビル6F
TEL:03(5776)1311
FAX:03(5776)1313
URL: http://www.rise-ad.co.jp
E-Mail:yuri@rise-ad.co.jp

オゾン層保護 株式会社

代表取締役
大谷 康弘

〒530-0041 大阪府北区天神橋2-5-25
若杉グランビル
TEL:06(6331)5190 FAX:06(6331)5196

大阪教区栄える会ホームページでPDF版をご覧ください。

<http://www.sakaerukai.com/>

「命の輝き共生の森」の取り組み①

これからの五十年、百年先の
未来のために私たちは何を為すべきか？

生長の家では教団を挙げて地球の環境保全に取り組んでいますが、大阪教区栄える会でもCO2削減を目的に、大阪府の中環の森計画・東大阪地区に「命の輝き共生の森計画協議会」を立ち上げ、平成22年から地域のボランティア団体と共に植樹活動を行っています。



(新聞の画像は、命の輝き・共生の森の植樹活動を紹介した2010年11月13日産経新聞朝刊からの抜粋)

第1回命の輝き共生の森植樹祭 平成22年11月28日

大阪府中環の森計画東大阪地区「命の輝き・共生の森」の第一回目の植樹をする日がやって参りました。大阪教区栄える会、後藤さん、加藤さんなど環境社会貢献対策部が中心になつて一ヶ月をかけて、今回植樹をする地面をコンボで掘り返し、土壌改良をしてみました。また前日の27日土曜日も大勢の栄える会会員が多数集まつて朝から夕方まで時間をかけて植樹の準備作業にかりました。一方、妹尾壽夫教化部長先生のお声掛けで大阪教区挙げて苗木購入の献資が集められました。

結果1001本(1本千円)を購入できる尊い資金が調達できました。今回はその中から、アラカシ、シラカシ、スダジイ、ヤマザクラ、タブノキ、アカガシ、コブシ、ホルトノキ、ツクバネガシ、イチイガシ、ウラジロガシ、ヤマツバキ、イロハモミジ、モチノキ、ヤマモモ、クロガネモチ等々26種類、800本の苗木を購入し、大阪府から500本のヤマザクラ、各種ドングリの苗木を無償でいただいた中から1100本の苗木を植樹しました。

紅葉映える曇天の空の下、妹尾教化部長先生を始め、大阪教区の信徒が201名参加し、他に安川代表、大阪商大から6名、布施北高校から3名、どんぐり学園から2名、大阪府の関係者十数名が作業に参加いたしました。作業にかかる前に地元石田(いわた)地名の岩田の謂(いわた)神社(天照皇大神、応神天皇を祀る)の宮司さんに作業の無事と共生の森事業の発展を祈って神事をしていただきました。そのお蔭だけでもないでしょう



が、作業が終了した時には、この地に神の御心が天降ったような感動を感じて、思わず目頭が熱くなった参加者が多かった、と聞いています。

私たちの活動は緑の少ない大阪にとって、正に生長の家総裁・谷口雅宣先生が東京の国際本部の八ヶ岳山麓への移転についておっしゃった「大海に石を投げるようなもの」(「いのちの環」VOL.3)かもしれないが、「たとえそうであったとしても、石を投げたらそれは波紋がずっと広がりますから、その波紋を見て、『あつ、こういう生き方がある』『こんなこともできるんじゃないか?』と、多くの人々に共感していただけるのではないか?」との白鳩会総裁・谷口純子先生のお言葉(「森の中」へ行く)の通り、私たちひとりひとりが率先して、欲望を抑制し、自然と人との共生への献資・献労という四無量心の捨徳を実践し、神の愛、仏の慈悲心を世の中に広げる灯火となりたいたいものです。



第2回命の輝き共生の森植樹祭 平成23年3月2日

大阪府の中環の森計画・東大阪地区(近鉄八戸ノ里付近南北800メートル)の植樹を担当する「命の輝き・共生の森」協議会の中心メンバーである大阪教区栄える会は、当地にとりあえず苗木1100本の植樹をした昨年11月28日の第1回植樹祭に続く、第2回目の植樹祭として、この3月12日土曜日を予定し、この数ヶ月間ずっと準備に明け暮れて来ました。前日も栄える会の有志が集い、土の耕しや、植樹後に敷き詰める藁の用意、苗木を植える敷地の前に整然と並べ、水の用意をしたりして夜遅くまで当日の準備に勤しみました。

明くる日も早朝からお昼まで準備の作業が続きました。本番の植樹活動の前に、本日集まれる方々に作業を指導するリーダーになる人々を集め、世界が植樹の指導者と仰いでいる宮脇昭先生の理論に沿って植樹活動を指導されているエスペックミック社の指導員による特別なハーサルも行われました。

この日、植樹祭に集まれた方は、開催者の私たちを含め、震災による津波が発生したことは知っていても、まさか被害があんなにも大きなものだったとは知る由もありませんでした。

当日の天候は当日曇り空でしたが、数日前まで時折雨が降り、現地の敷地はしっとり水を含む状態でした。



「命の輝き共生の森」の取り組み②

これも神様の御心を感じることになりました。
午後1時から東日本大震災の黙祷からセレモニーが始まりました。協議会の安川会長、樋上副会長を初め、大阪府小野副知事（震災対応で欠席）、代理の辰谷氏、東大阪市市長の野田氏などによる挨拶の後、副知事代理と市長による記念樹の植え付けが行われました。今回は生長の家の受付を通られた方が約200名（その中には奈良教区栄える会や京都第一教区栄える会の方々も多数ご参加いただきました。）、その他大阪府、東大阪市、どんぐり学園、近大付属高校、東大阪南ライオンズクラブ、中小企業同友会・・等々の諸団体が約100名、合わせて300名以上のご参加をいただきました。参加者は5班に分かれ、苗木を水に浸すところから始め、60センチ間隔で1200本の植樹をし、根本を雑草が生えぬよう藁を敷き詰め、その藁が移動せぬように縄で固定しました。



第3回 命の輝き共生の森植樹祭 平成23年11月27日

午後1時から、大阪府中環の森計画東大阪地区（大阪府中央環状線中央のモノレール計画跡地、中央大通りから近鉄奈良線までの南北800メートルの敷地を緑化する計画）にて「命の輝き・共生の森計画推進協議会」が主催する第三回植樹祭が、生長の家大阪教区の栄える会、相愛会、白鳩会、青年会が中心になって、奈良、京都第一など、他教区の栄える会の人々や地元で、保育園、ライオンズクラブ等、地元のボランティア団体を集めて午後4時まで行われました。参加者は総勢約160名でしたが、内生長の家の関係者は14名でした。
植樹されたのはシイ、カシ、ナラなどのドングリ類の苗木が中心で、桜や、タブ、モチなどの苗木を合わせて、今回1200本の日本固有の照葉樹林の苗木が植えられました。これで第一回から合わせて3500本の苗木が植えられたこととなります。植樹をする前に苗木一本ずつ水によく浸し、栄える会の環境社会貢献対策部の人々によって事前にユニボ（栄える会会員が無償提供）でよく耕された土に植え、その植えに藁を敷き詰め、藁が雨水に流されないように縄で縛って植樹の完了です。栄える会の環境社会貢献対策部の人々並びに有志の人々は、この行事の為に当日朝8時から集まって準備作業をして下さいました。又これからの植えられた苗木の維持管理も、栄える会の環境社会貢献対策部の仕事になります。



第7回 植樹祭 生命学園児童も参加して盛大に！ 平成27年11月29日

午前10時より、澄み切った快晴の秋空が広がる中で、「命の輝き共生の森」におきまして、第7回植樹祭が行われました。参加者数は、174名！！
大阪教化部のISO取組の中でも「職員は自然生態系への意識を深め、身近な自然の保護活動を展開する」ことが掲げられておりますので、率先してお手伝いをさせて頂きました。当日は生命学園も同時開催されて、大賑わいとなりました。今回の植樹を含めて、累計で約8,000本となり、自然への感謝の深さが現れております。植樹の後は、ネイチャーゲーム、落ち葉を集めて、しおりを作成しました。そして、昼食時には真心一杯の地元の食材を生かした味噌汁、パン、キンスラブ、ライスバーガー等を自然が溢れる会場の中で振る舞って頂き、参加者一同で大変美味しく頂きました。



平成28年8月29日。

「命の輝き共生の森」が、『おおさか環境賞』の準大賞を受賞しました！
植樹植林7560本と毎月の保全活動が大阪府に認められたもので、同年は大賞の該当なし、この準大賞がトップです。





挨拶をする樋上会頭



参加者全員で参拝



河野教化部事務局長も出走



多宝塔の前で記念撮影



ノーミートの昼食



記念ワッペン

各部のウェブサイト（入部フォーム）のURLはこちら。
※入部受付はインターネット経由のみです。

■SNI 自転車部 <http://sni.bike/>
■SNI オーガニック菜園部 <https://www.jp.seicho-no-ie.org/org-garden/>
■SNI クラフト倶楽部 <https://www.jp.seicho-no-ie.org/craft/>

<生長の家のプロジェクト型組織に関する規程>
http://www.jp.seicho-no-ie.org/news/sni_news_20160513.html

倫理的な生活者として
『生長の家プロジェクト型組織』に
入部しましょう！

生長の家では新しい文明を築くため、意識拡大と愛行実践の創意工夫として、プロジェクト型組織『SNIオーガニック菜園部』、『SNI自転車部』、『SNIクラフト倶楽部』が発足しました。
大阪教区でも各部の担当者が決定し、積極的に活動が行われています。
平成28年6月30日には岸和田市牛滝山で「多宝塔ヒルクライム」が開催され大阪、三重、和歌山、奈良、宇治、本部から18名の参加者がありました。
終始開催できる天候になり多宝塔の参拝を致しまして、スタートしました。ヒルクライムは初心者向けの競技ですが奥が深く、努力した分だけ結果に現れます。
諦めずにペダルを回し続けることで自然の中で生かされている喜びと一体感が生まれて結びの働きを実感しました。
当日は大阪教区の「SNIオーガニック菜園部」が中心となつてノーミートの昼食を用意し、参加記念品として大阪教区の「SNIクラフト倶楽部」の部員の皆様に記念ワッペンを作つて頂きました。



生長の家 京都・城陽メガソーラー発電所
設置場所：京都府城陽市久世奥山敷地
面積：約3万6千㎡（太陽光パネル6,408枚）
予想年間発電量：約183万444Kwh
CO2削減効果：約960t



メガソーラー見学会で集合写真



生長の家 福島・西郷ソーラー発電所

生長の家では、人類社会の主力エネルギーを自然エネルギーに切り替えていくことで、自然と人間とがより調和した生き方を実現する一つの方法として、メガソーラー発電所を設置し、信徒の皆様をはじめ、志を同じくする方々から広く寄付を募っています。
脱原発実現のためにも積極的に募金活動に致します！
募金に関する詳細は、生長の家公式ウェブサイトをご覧ください。

子供たちの笑顔のためにいま何ができるだろう
『生長の家 自然エネルギー拡大運動』

信仰心豊かに「倫理的な生活者」として、
「自然重視、省資源、低炭素の生活法」の実践と啓蒙活動に努めましょう！



生長の家栄える会Presents飢餓救済ウェブサイト
<http://www.jp.seicho-no-ie.org/kiga/index.html>



一汁一飯を実践し、飢餓に苦しむ人に心を寄せましょう。

このウェブサイトは、生長の家栄える会が、世界の飢餓で苦しむ人たちに救いの手を差し伸べるために、協賛企業を募って開設し運営しているサイトです。
協賛者一覧ページにアクセスしていただくことにより、協賛した金額がWFP国連世界食糧計画の民間協力の窓口である認定NPO法人国連WFP協会を通じてWFP本部に寄付され、飢餓に苦しむ人々に食糧が届けられる仕組みになっております。
同ウェブサイトを広く告知すると共に、協賛企業を増やしましょう。
また会員各員においては、日常的に一汁一飯の実践に努め

飢餓のない世界のために
『生長の家栄える会Presents
飢餓救済ウェブサイト』

神・自然・人間は本来一体なり

これからも産業界に「生長の家の繁栄の原理」を宣布して、それぞれの企業活動を通じて真の繁栄を実現し、神・自然・人間の大調和を目指して、大阪教区栄える会を益々発展させましょう！



OSAKA 50 会員企業広告

大阪教区栄える会 50周年を心よりお祝い申し上げます！

株式会社 さくら 代表取締役 辻野 倫男 本社事務所・配送センター 〒584-0006 大阪府富田林旭ヶ丘5-11 TEL. 0721 (23) 5180 (代) FAX 夜間0721 (23) 5587 番	祝 大阪教区栄える会 50周年 オリオン建設(株) 樋上 雅一	KVI税理士法人 代表社員 大谷 康弘 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25 若杉グランドビル TEL. 06 (6351) 5190 FAX. 06 (6351) 5191 株式会社 関西ベンチャーインキュベーター 代表取締役 大谷 康弘 公認会計士 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25 若杉グランドビル TEL. 06 (6351) 5190 FAX. 06 (6351) 5191	科学の未来を拓く 研究開発企業 鈴木油脂工業株式会社 大阪市東淀川区下新庄一八二三 TEL. 06 六三九二二二 FAX. 06 六三九二二二	豊国工業株式会社 代表取締役社長 井上敏之 本社・三重工場 〒590-0001 三重県伊賀市小田町1-4-50 電話 0595 (23) 2481 代表 茨城工場 電話 0595 (23) 2481 代表 茨城県常陸大宮市工業団地5110 電話 0295 (53) 6681 代表
若狭組運送株式会社 代表取締役 原川 和子 〒550-0015 大阪市西区南堀江4-2-117 TEL. 06 6531 5400 (代) FAX. 06 6531 5296 番	ペット合同供養墓 株式会社 関西メモリアル 代表取締役 野瀬泰良 〒587-0021 堺市美原区小平尾1059-26 TEL. 072 (363) 3414 (代)	設計・施工・修理・点検 日本シャッター北大阪販売(株) 代表取締役 秋山 八津代 豊中市長興寺北一丁目五番二十一号 TEL. 06 六八八四九五八七八 FAX. 06 六八八四九五八七八	スーパ・学校 ラノ・給食費 うどん店その他 納品 〒590-0001 守口市大久保町3-1-2 TEL. 06 9022 2334 FAX. 06 9022 7577	株式会社 サンビ 取締役会長 田上三郎 〒577-0007 東大阪市稲田本町2丁目7番22号 TEL. 06-6745-1333 (代) FAX. 06-6745-4949
扶桑薬品工業(株) 代表取締役 戸田 幹雄 ●本社／大阪府中央区道修町1丁目7番10号 本社事務所／大阪府東区森之宮2丁目3番11号 TEL (06) 6999 1131 (代)	麻野歯科医院 院長 麻野 秀明 〒578-0983 和泉市黒島町1丁目18番14号 TEL (0725) 4610002 FAX (0725) 4610003	ステキな写真と 心に残る結婚式を 株式会社 フォトスタジオシミズ 代表取締役 長谷川 久代 〒584-0036 大阪府富田林甲田2-1-24 TEL. 0721-24-3024 FAX. 0721-24-7084 http://www.photostudio-shimizu.com	(有) シーエム 代表取締役 新藤 充啓 大阪府東淀川区東野田町一丁目十番十三号 TEL. 06 六六二五二五四九六 FAX. 06 六六二五二五五五六	茶道を日本茶を文化を守りたい お茶 十菱 茶道具 十菱 有限会社 十菱 代表取締役 十菱昌久 (裏千家今日庵出入り方) 〒578-0983 東大阪市吉田下島15-27 電話 (072) 966-2119 FAX (072) 966-9808
株式会社 大正セイエ 代表取締役 宮澤廣数 〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目3番9号 TEL. 06 (6364) 4689 代	社寺仏閣用授与品の企画販売 ホームページの企画・制作 販売促進に関する企画・制作・印刷 各種パッケージの企画・制作・印刷 株式会社 創美 代表取締役 太野垣 修二 〒611-0014 京都府宇治市南町1丁目116 TEL. 075-6091186 FAX. 075-6091186	山根工務店グループ 株式会社 山根工務店 山根一級建築設計事務所 有限会社 山根 代表取締役 山根 敬義 〒570-0055 大阪府守口市春日町一丁目一八 電話 06 六九六一二三四三 代表	釣具製造卸 株式会社 ハクタカ工業 代表取締役 松村 強 〒577-0804 東大阪市中小阪1丁目15番8号 電話 06 (6721) 1964	釣具製造卸 株式会社 ハクタカ工業 代表取締役 松村 強 〒577-0804 東大阪市中小阪1丁目15番8号 電話 06 (6721) 1964



編集後記

大阪教区栄える会50周年を記念する行事として、9月11日に太閤園にて、教区繁栄ゼミナール・記念式典が執り行われました。

この記念行事の一つとして、この50周年記念誌の作成が決定し、ようやく発刊の運びとなりました。過去に開催されたたくさんの行事の記録や写真が事務局にあります。掲載する内容は限られますのでこの記念誌には一部を掲載するのみとなりました。

大阪教区栄える会のホームページに今回まとめました写真を掲載するようにいたしますので、ご覧いただきますようお願いいたします。[（ホームページ http://www.sakaerukai.com）](http://www.sakaerukai.com)

大阪教区栄える会のさらなる発展と皆様方のご多幸をお祈りいたします。

ご協力頂きました方々
(敬称略)

- 寄稿（お祝いの言葉）
- | | |
|-------|----------|
| 久利 修 | 大阪教区教化部長 |
| 澤田 伸史 | 生長の家参議 |
| 樋上 雅一 | 栄える会会長 |
| 吉倉 修三 | 生長の家長老 |
| 妹尾 壽夫 | 生長の家長老 |
| 神谷 光徳 | 栄える会名誉会長 |
| 太野垣修二 | 栄える会副会長 |
- 生い立ちの記
- | | | |
|------|--------|----------------|
| 吉田清吉 | 初代事務局長 | （機関誌 輝くなにわ より） |
|------|--------|----------------|

Seicho-No-Ie
Prosperity Society
OSAKA
50

発行	生長の家大阪教区栄える会
発行日	平成28年（2016年）9月11日
企画・編集	創立50周年記念誌 編集委員会
監修	樋上 雅一 栄える会会長
	田中 証 会頭代行
編集委員長	武市 進 副会頭
編集委員	蛭本 浩介 事務局長
	羽柴 弘子 事務局
デザイン制作	布谷 博之